

令和7年度 市民病院事務局組織目標

組織名	市民病院事務局	部長	渡邊 剛
組織の目的・方向性	高度急性期機能を有する病院として、地域で必要とされる質の高い医療を安定して提供し続けることができるよう、働きがいのある病院運営を推進しつつ経営の健全化を目指します。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標※			

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

市民病院事務局組織目標

適正な労務管理などにより医療スタッフを支え、医療DXによる業務改善に取り組むとともに、大幅に悪化した経常収支を早急に改善するため、市民病院事務局では、以下の3点を重点目標とします。

重点目標

- 1 収支改善計画の策定及びその実行に取り組み、病院経営の健全化を目指します。
- 2 医師の働き方改革を推進します。
- 3 国が推し進める医療DX政策をタイムリーに実現します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	3	達成数	3
取組結果	外部コンサルタントを活用して収支改善計画を策定し施策の実行に取り組み、赤字幅を縮小することができました。 医師の働き方改革推進については、年4回会議等を通じて制度の周知と啓発を行い、目標を達成しました。 医療DX政策については、電子処方箋の導入など、タイムリーに取り組みました。				
今後の方向性	健全経営を取り戻すため、収支改善計画を実行し、赤字経営からの脱却を目指します。 医師の働き方改革推進については、医師の時間外労働規制を達成し時間外勤務を削減できるよう、制度の周知及び取組の啓発に取り組みます。 医療DXについては、引き続きDXによる院内業務の負担軽減に取り組みます。				